

広報なすからすやま

No.135

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City

**祝。鳥山の山あげ行事
ユネスコ無形文化遺産登録決定！**

2	「鳥山の山あげ行事」ユネスコ無形文化遺産に…
4	地域おこし協力隊を紹介します…
8	中学生海外派遣事業…
10	市消防団通帯点検…
12	地域経済活性化フォーラム…
14	健康福祉まつり…
16	鳥山高×高根沢高 大人の修学旅行…
18	各種表彰・大会の結果…
20	まちのわだい…
22	インフォメーション…
24	シリーズ 鳥山高校ってこんなところ！…

2016
December
12

心からの万歳(12月1日、無形文化遺産登録記念イベント)



上から、山あげ会館にて吉報を待つ／式典に参加した大勢の人々。

「烏山の山あけ行事」 ユネスコ無形文化遺産に

無形文化遺産の新規登録を審査する国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)の政府間委員会が、11月28日(月)から12月2日(金)にかけてエチオピア・アディスアベバで開かれ、日本政府が申請した「烏山の山あけ行事」、「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」などを含む全国33件の祭礼行事が「山・鉾・屋台行事」として、無形文化遺産代表一覧表へ30日(月)(日本時間12月1日未明)に記載されることが決定しました。

33件のうち、「京都祇園祭の山鉾行事」と「日立風流物(茨城)」は、平成21年にそれぞれ独立して無形文化遺産に登録されましたが、政府はこの2件を含め特徴の似た行事をまとめ、一つの遺産として登録を図りました。このため、今回の「山・鉾・屋台行事」が登録されたことで、日本の無形文化遺産は21件となりました。

報告を待つ山あげ会館では、30日の午後8時頃から約1000人の地域住民や関係者、そして報道カメラマンがまだかまだかと待ちわびる様子が見られました。翌日の1日には、登録記念イベントとして、くす玉が開かれたほか、鏡開きなどが行われ、烏山山あげ保存会の島崎利雄会長や大谷範雄市長をはじめとする関係者、地域住民など約150人がそろって祝福をしました。

ユネスコ無形文化遺産に登録された

全国33件の「山・鉾・屋台行事」

行事名	府県名	市町名
はちのへさんしゃたいさいだしぎょうじ 八戸三社大祭の山車行事	青森県	八戸市
かくのだてまつ 角館祭りのやま行事 つちぎきしんめいしゃさいひきやまぎょうじ 土崎神明社祭の曳山行事 はなわまつりやたいぎょうじ 花輪祭の屋台行事	秋田県	仙北市 秋田市 鹿角市
しんじょう 新庄まつりの山車行事	山形県	新庄市
ひたちふりゅうもの 日立風流物	茨城県	日立市
からすやまやまぎょうじ 烏山の山あげ行事 かぬまいまやじんじやさいやたいぎょうじ 鹿沼今宮神社祭の屋台行事	栃木県	那須烏山市 鹿沼市
ちちぶまつりやたいぎょうじかぐら 秩父祭の屋台行事と神楽 かわごえひかわまつりだしぎょうじ 川越氷川祭の山車行事	埼玉県	秩父市 川越市
さわらだしぎょうじ 佐原の山車行事	千葉県	香取市
たかおかみくるまやまつりみくるまやまぎょうじ 高岡御車山祭の御車山行事 うおづ 魚津のタテモン行事 じょうはなしんめいぐさいひきやまぎょうじ 城端神明宮祭の曳山行事	富山県	高岡市 魚津市 南砺市
せいはいさいひきやまぎょうじ 青柏祭の曳山行事	石川県	七尾市
たかやままつりやたいぎょうじ 高山祭の屋台行事 ふるかわまつりおこだいこやたいぎょうじ 古川祭の起し太鼓・屋台行事 おおがきまつりやまぎょうじ 大垣祭の軸行事	岐阜県	高山市 飛騨市 大垣市
おわりつしまてんのうまつりだんじりぶねぎょうじ 尾張津島天王祭の車楽舟行事 ちりゅうだしぶんらく 知立の山車文楽とからくり いぬやままつりやまぎょうじ 犬山祭の車山行事 かめざきしおひまつりだしぎょうじ 亀崎潮干祭の山車行事 すなりまつりだんじりぶねぎょうじみよしなが 須成祭の車楽船行事と神渡流し	愛知県	津島市・愛西市 知立市 犬山市 半田市 蟹江町
とりでじんじやくじらぶねぎょうじ 鳥出神社の鯨船行事 うえのてんじんまつりぎょうじ 上野天神祭のダンジリ行事 くわないしどりまつりさいしやぎょうじ 桑名石取祭の祭車行事	三重県	四日市市 伊賀市 桑名市
ながはまひきやままつりひきやまぎょうじ 長浜曳山祭の曳山行事	滋賀県	長浜市
きょうとぎおんまつりやまほこぎょうじ 京都祇園祭の山鉾行事	京都府	京都市
はかたぎおんやまかざぎょうじ 博多祇園山笠行事 とばたぎおんおやまがさぎょうじ 戸畑祇園大山笠行事	福岡県	福岡市 北九州市
からつ 唐津くんちの曳山行事	佐賀県	唐津市
やつしろみょうけんさいしんこうぎょうじ 八代妙見祭の神幸行事	熊本県	八代市
ひたぎおんひきやまぎょうじ 日田祇園の曳山行事	大分県	日田市



烏山の山あげ行事。

●よろこびのこえ●

烏山山あげ保存会会長

島崎 利雄

烏山山あげ保存会関係者一同、市民の皆様とともに待ち望んでいたユネスコ無形文化遺産への登録の報を受け、このうえない喜びでいっぱいです。ユネスコは夢のまた夢でありました。改めて、「烏山の山あげ行事」に携わられた先人、先輩、そして関係する皆様に敬意と感謝を申し上げるものであります。

これからは、世界に誇れる文化遺産として自覚を新たに時代の変化に対応し、歴史と伝統ある市民自慢のお祭りをしっかりと次の世代に引き継いでいきたいと思います。

皆々様の更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。



那須烏山市長

大谷 範雄



この度のユネスコ無形文化遺産への登録の吉報を受けて、烏山山あげ保存会の皆様をはじめ、市民の皆様とともに喜びを分かち合いたいと思います。まさに快挙であり感激しております。

先祖から代々受け継いだ大切な文化遺産である「烏山の山あげ行事」を後世に守り伝えていくとともに、世界に誇れるその素晴らしさ、そして魅力を発信し、地域の復興、地方の創生に繋げていければと考えております。

地域を変えていく新しい力

地域おこし協力隊 紹介します。



「地域おこし協力隊」という言葉を耳にしたことがありますか？

都市部に住む人の中には、「都会を離れ地方で生活したい」、「自然と共存した暮らしをしたい」、「人のつながりを大切にしたい」など、様々な理由で『地方』に注目している人が多くいます。「地域おこし協力隊」は、そうした思いを持った都市部の人が、地方に住み、そこで活動し、まちを元気にする一員になってもらうという制度です。那須烏山市にもそんな憧れなどを抱いて、実際にやってきてくれた人々がいます。

今回、市では3人の隊員を迎え入れました。今月号では隊員の方々を紹介します。

地域おこし協力隊ってなに？

「地域おこし協力隊」とは、人口の減少や高齢化が進み人材不足にある地方において、地方での生活を望む都市部の人々たちを迎え入れ、地域の課題解決のために各分野での活動に携わってもらうことにより、地域の活性化とまちおこしの一員となってもらう制度で、平成21年度から総務省の政策として創設されました。

最近、テレビやニュースなどでも他自治体で採用された隊員の活動が取り上げられるなど、本制度が少しずつ浸透してきており、県内では13市53人^{（11月1日現在）}の隊員が活動中です。

本市では10月から3人の隊員を迎え、地域課題を洗い出すフィールドワークを実施しながら、起業家として自立できるスキルを獲得するための研修を開始しました。

隊員の任期は3年。3年後には地域に溶け込み、新たな産業を創設すべく現在奮闘中です。イベント会場やまちなかで彼らを見かけたら、気軽ににお声かけください。



榎本真紀子さん(37)

出身地: 埼玉県久喜市
趣味: 音楽鑑賞、ライブに行くこと
特技: どこでも寝られる

“よそのもの”の視点を生かした魅力を発信

■なぜ那須烏山市の地域おこし協力隊員へ？

大学を卒業後、都内や埼玉で、販売員や営業事務など、いわゆるOLをしていました。ある時、「この仕事をずっと続けていくのだろうか？」と疑問を持ち、転職を考えるようになりました。もともと、まちづくりに関心があった私は、協力隊募集イベントに参加したのがきっかけで興味を持ち、仕事を続けつつ1年以上かけて調べ考えました。そして、那須烏山市に出会いました。先輩隊員がいないというところに不安は感じたものの、自立に向けた研修や、手厚いサポートがあり、受入体制がしっかりしていたため、ここで活動してみたいと思いました。

■今後やりたいことは？

任期が終わった後も、生活できる収入が得られるような活動をしていきたいと考えています。地域のもを生かした新商品の開発や空き家などのスペースを使った運営・貸し出し、PC一つでIT関係の仕事もできます。複数の事業を作り、働き口が少ないまちでも収入が得られるような仕組みづくりをしたいです。また、地域の遊びや美味しいお店、面白い人などを紹介するフリーペーパー制作です。それも、隊員や行政ではなく、市民が中心となって情報発信をしていけるような…。こういった土台を作ることで地元を大好きになってもらい一人ひとりが魅力を発信したくなるような環境を作っていきたいです。

■隊員となって一言

「よそのもの」の視点でまちの魅力に気付いていけたらいいと思います。元OLの私に特別なことができるわけではありませんが、応援よろしくお願いします。

地域住民中心のまちづくりを目指して

■なぜ那須烏山市の地域おこし協力隊員へ？

私は、那須烏山市に来る前に3年半の間、カフェを経営していました。ある時から、「身近な人が生産したものでなにかできないか？」と思うようになりました。北海道と言うと、「自然もあるしのどかでいいじゃない！」とよく言われますが、私が住んでいた地域は、自然とは程遠く、身近な人で生産者もいなければ、近くに畑也没有。どうせやるなら、今まで一度も出たことのない北海道を抜け出して、違った景色、違った感覚でまちづくりに関わってみたいと思いました。そんな時に、協力隊という活動があるということを知り、自然や農産物が豊かな那須烏山市に巡り合い、飛び込みました。

■今後やりたいことは？

最終目標は、「カフェをオープンすること」です。でも、ただのカフェではなく、地域の人を中心となって、使う野菜は畑から作ったり、子どもたちが農業者とふれあう機会を持ったり、地域のものを使って商品を作って販売したり…いろんな人が関われるカフェを作りたいと考えています。まだ、那須烏山市に来たばかりで、分からないことの方が多いですが、直売所やお菓子屋さんなど色々なところをまわり、商品作りの知識を学びたいです。

■隊員となって一言

那須烏山市に来て間もないですが、今までの生活では考えられないほど人とのかわりが豊富で、学ぶことが多いです。これからもっと地域の人と交流を深め、少しずつ信頼関係を築いていきたいと思っています。



市田久美子さん(34)

出身地: 北海道恵庭市
趣味: カフェ巡り、料理
特技: サッカー

那須烏山市の投票率は**39.32%!**

投票結果

	男	女	合 計
当日有権者数	11,783人	11,996人	23,779人
投票者数	4,640人	4,711人	9,351人
投票率	39.38%	39.27%	39.32%

開票結果

候補者氏名	福田 とみかず	小林 としはる
得 票 数	7,918票	1,332票

**投票率は14市中2番目
18歳の投票率は42・5%**

任期満了に伴う栃木県知事選挙が、11月20日(日)に行われました。

県内の投票率は33・27%、本市の投票率は39・32%で前回から0・54%下回りましたが、投票率は、県内25市町の中で7番目、14市の中で2番目にあたります。一方で、期日前投票率は、16・64%と前回を6・07%上回り、投票者数のうち期日前投票者は、4割以上を占める結果となりました。期日前投票率は、県内25市町の中で2番目、14市の中で1番目にあたります。



また、公職選挙法等の改正により、選挙権年齢が満18歳以上となって2回目の投票となった今回の選挙。本市の18歳の投票率は、42・15%となり、そのうち高校3年生世代の投票率は48・75%で、いずれも全体の投票率を上回りました。

**投票時間の繰り上げと
臨時期日前投票所を開設**

市選挙管理委員会では、時代に合った投票環境づくりや投票立会人の負担軽減を目的として、今回の栃木県知事選挙から、選挙当日の投票時間を1時間繰り上げ、午後7時までとしました。

さらに、投票区の再編により投票所までの距離が遠くなった住民の投票機会の確保や、高校生有権者にも投票し



写真上から、烏山高校で行われた臨時期日前投票/JR烏山駅前での啓発活動/JAまつりでの啓発活動。

投票率向上のため 啓発・周知活動を活発に

投票時間の繰り上げの周知と投票率向上に向けた啓発活動を10月中旬から

やすい環境づくりを目指し、本市で初めての試みとなる「臨時期日前投票所」を、大木須集会所、木須の郷交流館、烏山高校の3か所で開設しました。

11月13日(日)に行われた大木須集会所、木須の郷交流館での臨時期日前投票所では、それぞれ2時間で合わせて72人の地域住民が投票に訪れました。16日(例)の烏山高での投票では、2時間で同校の生徒や地域住民など41人が訪れました。生徒からは、学校という身近な場所できると好評で、烏山高3年生の有権者の半数である30人が一票を投じました。

行いました。商工会まつりやJAまつり、健康福祉まつりなどのイベント時のほか、市内スーパーマーケット、そして、初めてとなるJR烏山線烏山駅・大金駅でも啓発チラシの配布などを行い、投票を呼びかけました。

また、市ホームページや防災メール、市公式SNS(ツイッター・フェイスブックなど)でも、期日前投票数や当日の投票状況の速報など情報発信を行いました。

県内ナンバーを目指して:

市選挙管理委員会では、今後も地域の皆さんと協力をして「誰もが投票しやすくなるような」様々な取り組みを行っていくこととしています。投票率県内ナンバーを目指しましょう。

■選挙管理委員会(総務課内)
☎ 0287-831117

中学生16人が姉妹都市・米国メノモニー市へ

今年も、国際的視野の拡大と国際協調の精神を養うことを目的とした市の中学生海外派遣事業が、9月26日(月)から10月4日(火)までの9日間の日程で行われ、市内外3中学校の2・3年生16人が、姉妹都市のアメリカ合衆国メノモニー市を訪れました。

派遣先では、ホームステイや学校生活を通して、アメリカの文化や教育、家庭生活などを体験しました。帰国後、生徒は現地での活動の様子や感想などを報告書にまとめました。そのなかから、生徒たちが異国の地で感じた驚きと感動を一部抜粋して紹介します。

また、市では、これらの感想をまとめた英訳付きの英字新聞の編集を進めています。完成後は、参加した学校や派遣先のメノモニー市に送る予定です。



ローラの家にて。

■現地の学校へ行ったとき、日本とのギャップに驚きました。なぜなら、授業風景が日本では考えられないほど自由であったからです。また、アメリカ人のフレンドリーさにも驚きました。僕にとってメノモニーでの体験は大きな糧となったので、今後の学校生活などに活かしていきたいと思います。滝口智弘

■ホストファミリーとの別れは辛かったです。「かえりたくない!」という気持ちでいっぱいでした。メノモニーで過ごした9日間は、忘れられない思い出です。ガンスバーグファミリーは私の第2の家族です。ホストファミリーや友達、チエルシーとの思い出は一生忘れません。また、これからも交流を深めていくつもりです。安齋瑠夏

■アメリカで強く残っている思い出として、遊園地が中に入ってしまうほど大きいショッピングモールでは、自分のお金で飲み物や食べ物を買つことができ、日本より安く手に入りました。本屋では、日本人著者の本は、逆に約2倍の価格でした。そういった品物によって物価が違ふことを感じることもできました。新井健介

■私はあまり上手に英語が話せないのに、ホストファミリーとうまくコミュニケーション

▶授業に参加した団員たち。



●中学生海外派遣●

異国の文化を肌で感じた 9日間のホームステイ

いろいろな人が話しかけてくれて、一緒に授業を受けることが出来て嬉しかったです。メノモニーでの経験は、私の将来に必ず役立つと思います。山口果穂

■最も貴重な体験はホストファミリーとの生活でした。ブライスと一緒に野球やアメリカンフットボールをしたり、ブライアンとトレイシーとも野球の話をし、とても楽しい時間を過ごしました。それに加えて、アメリカンフットボールを見るのは初めてだったので忘れられない思い出になりました。そこでも色々な人と話をするのができて貴重な体験ができました。塩野目友都

■日本の学校との大きな違いは3つありま

ことができるようになりました。このような気持ちになったのは、ホストファミリーに色々な体験をさせていただけだからだと思います。本宮一稀

■ホストファミリーと会うまでは家族とうまくやっていけるかどうか不安でした。しかし彼女たちは私を家族の一員として温かく迎えてくれました。話をする時もゆっくりと優しく話をしてくれたので、リラックスしてホームステイを楽しめた事はとてもうれしかったです。吉沢唯衣

■アメリカの学校では、ベンのクラスメイトや先生という人なことにについて、お話ができる、嬉しかったです。また、アメリカの

●主な派遣日程●

- ▽9月26日(月)／那須烏山市出発、ミネアポリス空港からメノモニー市へ
- ▽9月27日(火)／バックマン農場やローラの家など市内と近隣見学、生徒は2日までホームステイ
- ▽9月28日(水)／オークラウン小を訪問し日本文化を紹介
- ▽9月29日(木)～10月2日(日)／メノモニー中で授業に参加、ホストファミリーと交流、返礼パーティー
- ▽10月3日(月)／ミネアポリス出発
- ▽10月4日(火)／日付変更線を通り、成田空港へ。那須烏山市到着



オークラウン小へ訪問。

●参加団員名●

▽団長…学校教育課：内藤雅伸 ▽団員…矢板東高等学校附属中3年：滝口智弘／烏山中2年：安齋瑠夏、新井健介、大鐘未来、鈴木優莉亜、高野知美、森成直央、山口果穂、塩野目友都、佐藤こころ、高野大輔、本宮一稀、吉沢唯衣／南那須中3年：渡邊海人／南那須中2年：内田明香里、篠崎杏名 ▽事務局…学校教育課：小堀佑真

シオンがとれるかどうか不安でした。しかし、私のホストシスターであるジャーニーは、とてもゆっくり話をしてくれたので私は彼女の言うことを理解することができました。毎回の食事のときには、家族とも話を楽しむことができました。大鐘未来

■現地の学校ではオータムのクラスメイトが「Hey, girl!」と声をかけてくれたり、手を振ってくれたりして嬉しかったです。学校で過ごした3日間の思い出をたくさんの人と共有したいです。ホームステイ最終日は、ホストファミリーにはさびしさと感謝の気持ちでいっぱいでした。メノモニーで過ごした日々は、とてもエキサイティングな体験でした。鈴木優莉亜

■現地の学校ではみんなが優しく声をかけてくれたりして、友達がたくさんできました。特にエンジェルは、体育の時間に一緒にグループになったときずっとそばにいてくれました。分からないことがあったら、丁寧に説明してくれてとても心強かったです。ホストファミリーと別れるときは、「もう一生会えないかもしれない」という思いから涙が止まりませんでした。高野知美

■ホストファミリーは皆とても親切で、いろいろな所に連れていってくれました。牧場や動物園、ショッピング、初めてのフットボール観戦、そしてカヌーに乗ったりと、短い期間でしたが、忘れられないたくさんの思い出がありました。言葉の壁を乗り越えて、心から笑いがこぼれ出す瞬間を達成でき、私はアメリカへ行く前の何倍も成長しました。森成直央

■ウェリントンファミリーの家でパーティーをしたり、マッケンジーとジャック・オランタンを作ったり、MALL OF AMERICAの遊園地で遊んだり、とても楽しい毎日でした。現地の学校でもいろ

海外派遣事業に10年間協力 パーボラ恵子さんが本市を訪問

現地で市中学生海外派遣事業に10年間携わるアメリカ合衆国シアトル在住のパーボラ恵子さんが、10月19日(水)、市役所南那須庁舎を訪れました。パーボラさんは、平成19年にこの中学生海外派遣事業を知り、現地ボランティアとして活動を始めました。それから毎年、ホームステイ家族の募集や、現地での通訳や観光案内などを行っています。

パーボラさんは、「那須烏山市がどんなまちか見ることができて良かった。これからもこの活動を続けたい」と話していました。



パーボラさん(中央右)。

す。一つ目は、授業のたびに教室を移動することです。短い休み時間の中ですばやく移動していました。二つ目は、スマートフォンや食べ物を持ち込んでもいいということです。私たちにクッキーをくれた人もいました。三つ目は、飛び級の制度があるということです。飛び級できる人はすごいなと思いました。佐藤こころ

■一番の思い出は、ホストブラザーのベンとお父さんと湖に釣りに行ったことです。日本とアメリカの釣りでは違いがある事を学びました。考えてもみなかった独自の釣り方があったり、たくさん魚の種類やその大きさに驚きました。アメリカで釣りをしたいと思っていたので僕にとって忘れられないものになりました。高野大輔

■僕は、今回の派遣に参加して外国の人に対しての心の壁を取り払うことができました。派遣に参加する前は、外国の人を見かけると身構えてしまう自分がいました。しかし、今では目があつたりした時に笑顔で接する

学校の休み時間の短さに驚きました。日本での休み時間のようにしていいたら、次の授業に遅れてしまうな、と思いました。さらに、二階がないところに、アメリカの広大さを感じられました。渡邊海人

■まちのパレードに行った時に、私はその盛り上がりを見てこんな町に住みたいと思いました。また、フットボールの試合を見に行ったとき、まちの人は皆このチームのカラーの洋服を着て応援していました。会場一面がチームカラーのあざやかな光景は、今でも頭に残っています。本当にこの町を好きで愛していることが伝わってきました。内田明香里

■アメリカの人たちは人の気持ちを考えて行動をする感じが、できる優しい人たちがばかりでした。別れる時アメリカでもっと色々な事を学びたかったなと思いました。メノモニーで過ごした時間は勉強になりました。このことは一生忘れることはないでしょう。篠崎杏名

市消防団通常点検 非常時に備え人員や機械器具を点検

11月13日(日)、那須烏山市消防団(興野一美団長)による通常点検が大桶運動公園で開かれました。

この点検は、非常時に備え、服装や機械器具、放水などを点検することで市民の防火・防災意識の啓蒙と団員の士気高揚を図るために毎年行われています。

当日は、8分団から421人、女性消防団から16人、市内2中学校から48人が参加。講評・訓示の後には消防活動に貢献した団員や団体へ表彰状が手渡されました。

模範消防団員知事表彰、県消防協会長表彰などの受賞者は次のとおりです。(敬称略)

■栃木県知事表彰

▽模範消防団員表彰…鈴木幸一、仲山健司

■栃木県消防協会長表彰

▽功績章…鈴木幸一、岡則夫
▽勤続章…鈴木幸一、岡則夫

【35年】興野一美、宇井良介

【25年】大橋昭一、丸山浩

【20年】田澤義行、岡則夫、小濱孝之、佐藤大、鈴木祐輔、齋藤政彦、星俊之、相田享志、人見善勝、東原一吉、塩野聡、黒尾孝、須藤孝之、阿久津英樹、小口悦男、船山吉伸、村山和義、小滝泰昭、和田高弘

【15年】各和輝夫、大野宏之、小室貴紀、傳堅志、栗田雅美、澤村徹也、平山智庸、伊藤光孝、阿相浩一、小田一幸、須田誠、

菊池祐一、秋山光義、和智祐一、樋山和也、國井智明、堀江淳一、網野征市、藤田善永

【10年】皆川剣悟、塩田勝政、相田憲一、加藤賢一、中山崇、小西達也、小池知道、阿久津豊、黒須正明、諏訪英昭、阿部慎也、菅俣紀彦、横山勇樹、小林淳、青木昭寿、荒井誠寛、国井貴幸、小室勝行、大谷建治、山村崇、石井克宜、掛札研輔、大貫佳孝、五月女端志、大野尚信、高野亮一、中山憲昭、塩野宏文、栗田寿一、南川浩

究、菊池芳治、櫻井崇、藤浪康雄、福島仁宏、小池貞友

▽親子消防団員表彰…川俣知孝、川俣亮也

▽優良分団(竿頭綬)…第1分団

▽功績章…渋谷英樹、内藤一貴

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮

▽兄弟消防団員表彰…川俣佑太、川俣亮也、滝友弥、滝祥平、大森詠亮



上:団員と消防車両の分列行進。
下:各種表彰が行われた表彰式。

那須烏山市・和光市交流スポーツ大会

サッカーとミニバスで交流深める

11月3日(日)、那須烏山市・和光市交流スポーツ大会が大桶運動公園と烏山小学校体育館で開催されました。

この大会は、平成8年から防災協定を締結している埼玉県和光市と、スポーツをとおして市民相互の一層の親睦を図ろうと平成19年から毎年開催しているものです。当初は、サッカーのみ

の交流でしたが、昨年から、ミニバスケットボールも種目として加わりました。

今年は、少年サッカー9チーム、ミニバスケットボール8チームが参加。大桶運動公園で開会式が行われた後、それぞれの会場に移動し、熱い戦いが繰り広げられました。



中高生ら35人と災害ボランティアチーム龍JIN 被災地石巻に新米や手紙届ける

市内の災害ボランティアチーム

△龍JIN(小堀恵美子代表と市内の
中高生35人が、11月13日(日)、東日
本大震災で被災した石巻市内数
か所を訪れ、栃木県産の新米2
00キロや中高生の手紙を届け
ました。

気付けました。

被災地の皆さんからは、「いつ
も私たちを気にかけて子どもた
ちと来てくれることがありがた
く本当にうれしい」と参加した
中高生へ感謝の言葉が送られま
した。

同行した鳥山高の大川直邦校
長は「市内の小中高生がすばら
しい活動を震災当初から行い人
材が育っていることを知りとても
良かった。ぜひ継続して欲しい
」と話していました。

この活動はチーム龍JINとJ A
なす南が協力し、平成24年から
毎年行っているもの。この日、参
加者は新装された復興住宅の集
会所などを訪問し、手紙を朗読
したり、歌や踊りを一緒に楽し
んだりして被災地の皆さんを元



石巻を訪れた中高生と地元の皆さん。

大桶上防災訓練に市内の親子を招待

10月30日(日)、大桶・白久ふれあ
いの里で、「大桶上自治会防災訓
練」が開かれました。

当日は、大桶上の住民や同ふ
れあいの里利用者など約100
人が参加したほか、市の子育て
世帯交流事業の一環で、地域が
子育て世帯のために支援するこ
とを目的に、市内の親子が招待
され、4組11人が地域の人々と
交流を図りました。

参加者は、那須鳥山消防署の
職員に、AED(自動体外式除細動



AEDの使い方を確認する地域住民。

市内公共施設で初 電気自動車用急速充電設備を設置

市では、市内の公共施設で初め
てとなる「電気自動車用急速充電
設備」をすくすく保育園・鳥山南公
民館駐車場に設置しました。

当設備は、一般社団法人次世代

自動車振興センターの補助金を活
用し、電気自動車の普及促進や温
室効果ガスの削減を図るために設
置されたものです。

合同会社日本充電サービスが発
行する「NCSカード」などをかざ
すことで利用が可能となり、当
カードを持っていない利用者でも、
その場でQRコードを読み込み利用
者登録することで利用が可能です。

稼動開始となった11月1日(火)、
オープニングセレモニーが行われ、
国井豊副市長や渡辺健寿議長、施
工業者らが出席。国井豊副市長は
「ぜひ、ユーザーの皆さんに有効利
用してほしい」とあいさつしました。



少年サッカー大会。



ミニバスケットボール大会。



市内公共施設で初めて設置した
電気自動車用急速充電設備。

また、市では今後も山あげ会館
などの主要な観光施設などへの整
備を進める予定です。